

## Aiロボティクス

247A・100株

9月27日

東証グロース上場

## 「生VC」スキンケアシリーズ「Yunth」などを展開

「お客様に「今までにない選択肢」をもたらす」をミッションに掲げる。データドリブンマーケティングを活用し、OEM先との協働で研究を重ね、「Yunth生VC美白美容液」を開発し、スキンケア市場で「導入美容液」という新領域を創造した。

「生VC美白美容液」は累計販売個数320万個（2024年7月現在）を記録しており、美容総合サイト「@cosme」では「ベストヒット賞2022ブランド新人賞」を受賞するなど、顧客から高評価を獲得している。

## 独自のデータドリブンマーケティングで事業を拡大

祖業のAIマーケティング事業で独自開発したAIシステム「SELL（セル）」をD2Cブランド事業向けに機能拡張し、商品開発から需要予測、CR（クリエイティブ）作成、広告運用、CS（顧客満足）対応、CRM（顧客関係構築）施策までを自社で行う。

商品開発では、顧客ニーズを直接収集して需要動向に瞬時に反応し、高付加価値な商品の企画・開発に活用できる仕組みを構築している。需要予測では、精度の高い在庫・発注管理を実現し、コスト削減に寄与する。

CR作成では効果の高い広告素材を自動生成する。広告運用では最適な広告媒体を選定するほか、広告効果を測定して改善し、プロモーションの効率化を図る。

CS対応では、顧客からの問合せ内容毎にエスカレーション判定（最適な対応責任者の判定）し、顧客対応の品質確保と効率化の両立に成功している。CRM施策では、全顧客データを活用して潜在顧客や休眠顧客（利用を中断した顧客）に効果的にアプローチし、新しい需要を発掘して顧客基盤を拡大する。



## Aiロボティクス

247A・100株

9月27日

東証グロース上場

製品製造に関しては、商品の品質確保に向けて、OEM先と技術的側面で協業し、商品企画に最適な有効成分を選択するなどし、さらに自社でテストして改良を加えることで、高品質を実現している。

なお、2024年3月期、D2Cブランド事業に経営資源を集中するため、AIマーケティング事業の活動を休止した。これにより全社売上高を前期比93.7%増の7,061百万円に伸長させたほか、原価率が約20%と低い「D2Cブランド事業」が全社売上の約98%を占めたことにより、全社粗利益率が78.1%(前期比33.4pt増)と向上し、高収益体質への組織変革に成功した。

## 顧客を魅了する高付加価値商品でLTVが向上 ストック売上も拡大

現在、3つの販売チャネル「自社ECサイト」「ECモール」「店頭卸」で展開しており、自社ECサイトでの売上が全体のおよそ7割弱を占める。また、認知度拡大と需要喚起のため、全国のドラッグストア等、全国約6,200店舗(2024年7月現在)で販売している。

自社ECサイトでは、単品(買い切り)販売のほか定期購入サービスを展開しており、ECサイト売上げの7割弱を占める。「Yunth」ブランドでは、購入者の約97%が定期購入サービスを選択しており、加えて、定期購入会員数は116,277名(2024年6月時点)と直近8か月で111.5%増加したことから、LTV(顧客生涯価値)は向上を見せている。

これに伴いストック売上が増加し、安定した収益基盤を確立している。ほかにも、顧客あたりの定期購入継続回数や、「Yunthブランド」のクロスセルが増加していることから、LTVは向上を続けている。

## ビューティ市場をターゲットに新商品を展開

「Yunth」ブランドでは、2024年3月期に4種の新商品を市場投入し、2025年3月期第2四半期にも新商品4種の販売を開始した。「SELL」を活用した商品企画・開発でラインナップ拡充を加速している。



## Aiロボティクス

247A・100株

9月27日

東証グロース上場

美容家電ブランド「Brighte」を2024年2月から提供開始した。中価格帯の位置づけで、多機能が特徴の「ELEKI LIFT」を中心に2機種的美顔器と、併用できるスキンケア商品を展開している。

「美的 美容賢者が選ぶ2024年上半期ベストコスメ その他部門美容機器篇」で第3位を受賞するなど、顧客からの反応は良好で、2025年3月期第1四半期に全体売上の30%以上を占めるなど、業績は堅調に推移している。

プロモーションでは、初めて著名タレントを起用し、ブランディングを行い、顧客認知度の向上を図っている。



## 中長期の業績見通し

2023年、同社の主領域「国内スキンケア市場」の市場規模は1.3兆円に達しており、同社は、需要開拓余地は大きいと判断し、成長機会を十分に見込み、引き続き新商品開発を推進する。

市場規模が4,000億円程度とみられている美容・健康家電/雑貨市場については、比較的新しい領域であることから、同社の強みである商品開発力により潜在需要の拡大も予想され、将来の業績寄与が十分期待できるだろう。

具体策として、2026年3月期にビューティ市場をターゲットとした新ブランドの展開を予定しており、以降、1年に1ブランドのペースで継続的に新ブランドを投入する計画である。ほかにも、M&Aを活用した多角化の推進も検討している。

加えて、市場規模がそれぞれ1兆円超となる健康志向食品市場や宝飾品市場、6,000億円超規模のヘアケア・ヘアメイク市場へ、事業基盤の安定化に向けた多角化の一環として、参入を進めている。

## Aiロボティクス

247A・100株

9月27日

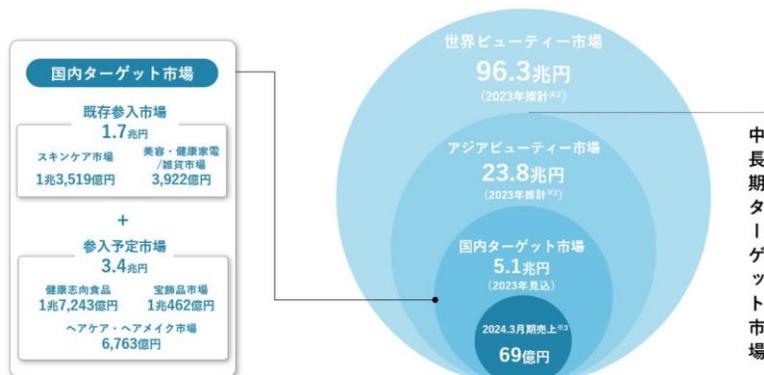
東証グロース上場

中長期的にグローバル展開を模索するなか、現在中国市場でテストマーケティングを進めている。

2024年8月には「Yunth」ブランドが中国にて、多くの販売実績を記録し飛躍的に成長したブランドに贈られる「優秀新興ブランド2024」を受賞するなど、同社の予想を超える反響を見せた。

現時点での業績寄与度は低いものの、莫大な需要を抱える中国市場の可能性は当然大きく、実際に好感触を得ていることから、今後については日本市場での拡大を超える勢いで成長する見込みがあると同社は考えているもよう。

中国を皮切りに台湾やタイなどアジア諸国への展開も模索しており、グローバルビューティ市場での顧客基盤獲得により、さらなる成長が期待できる。



出典：富士経済グループ「化粧品マーケティング調査 2024 No.1」 「化粧品マーケティング調査 2024 No.2」 「美容市場動向調査報告」 「健康サービストレンドレポート 2023-2024」 「1」 「グローバルマーケティング調査 2024 No.3」 健康志向食品品類、美容健康市場用「宝飾品」 「フェイシャル」 市場に関する調査 (2023年調査) | 、山崎コンサルティンググループ株式会社 | 米国ロセター・バーンホルツグループ監修とブランド。

決算期	売上高	業績推移 (百万円・%)		純損益	伸び率
		伸び率	経常損益		
2021/3	1,567	160.9%	94	79	31.5%
2022/3	1,607	2.6%	▲78	▲388	—
2023/3	3,645	126.7%	283	▲264	—
2024/3	7,061	93.7%	1,234	825	—
2025/3 予	10,800	52.9%	1,700	1,200	45.4%
2024/6 1Q	2,559	—	472	333	—
予想EPS/配当	単独：105.60円/—円 ※予想EPSは上場時発行済株式数で試算				

### 免責事項(ディスクレーマー)

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかなるを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは強く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

### ■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山五丁目13番3号

株式会社フィスコ

電話:03-5774-2443(情報配信部) メールアドレス: support@fisco.co.jp